

住み続けられるまちを、 そこで暮らす人の声から考える

茅野市で活動する人を訪ね、聴き、つながりの可能性を探る

フィールドスタディ@茅野市



プログラム

2026年

10/21 (水) 18:30-20:30
@オンライン

公開講座 & 説明会

公開講座 & 説明会のみの参加も可能

- ・講座「このまちに住み続けたい」は、どう生まれる？
- ・フィールドスタディ@茅野市 説明会

11/15 (日)、20 (金) 10:00-17:00
@茅野市

15日、20日いずれかのための参加も可能です

茅野市での聞き書き

- ・地域活動者への聞き書き (インタビュー)

12/8 (火) 18:30-21:00 @オンライン

聞き書きふりかえり & 地域分析

27年 **1/23 (土) 10:00-17:00** @茅野市

地域対話「活動マップづくりを通して ‘まちの力’を見出そう！」

人口減少や高齢化が進む中、**住み続けられる地域**をどうつくるかは、県内各地の共通課題です。

地域で安心して暮らし続けるには、行政や企業だけでなく、支え合いや居場所、役割、人と関わるきっかけを生む、**多彩な地域活動**が欠かせません。

市民活動や協働のまちづくりの蓄積があり、新しい世代の活動も拡大している**茅野市**を舞台に、地域で活動する人々への聞き書き(インタビュー)と地域対話を通して、「**住み続けられる地域**」を共に考え、仲間を広げるプロセスの進め方を、体験を通して学びます。

【ナビゲーター】



広石 拓司
(株)エンパブリック
代表



新 雄太
東京大学大学院
工学系研究科特任講師



船木 成記
(一社)つながりの
デザイン代表理事

プログラム詳細、参加申込は
特設サイトから⇒
nagano-machimura.net



地域にあるものに目を向け、 その意味を問い直し、 新しい相乗効果を生み出す。

これからの地域づくりに必要な
場づくりの実践法を、
体験を通して身につけよう！

プログラムを通して身に着けることができること

- 地域の人々の思い、活動の背景、大切にしていることに寄り添い、深く理解する「聞き書き」の力
- 一つの活動を、地域全体の中に位置づけて意味を見出す俯瞰的な視点と現場を結びつける力
- 聴いて終わりではなく、気づきを地域の方々に返し、一緒に次を考える場をつくるプロセスと手法
- 県内各地で活動する仲間とのつながり
- 自分の地域で活動を見出し、つながる場をつくり、地域の力を引き出していく実践力

【こんな方におすすめです】

- ・ 地域づくりや住民活動の支援に関わっている方
- ・ 地域のファシリテーターやコーディネーターの方
- ・ 行政と地域、団体と団体をつなぐ仕事をしている方
- ・ 住み続けることができる地域、選ばれる地域をつくることに取り組みたい方

「うちの地域には何もない」「つながりが弱い」
地域のことを、私たちは知らず知らずのうちに、こうした『足りないもの』や『課題』から地域を見てしまいがちです。
しかし、地域には、まちづくり、福祉、子育て、環境、交流、居場所づくりなど多彩な活動があり、思いを持ち、つながりを作りながら活動している人がいます。

個々の活動が地域の中でどんな役割を担っているのか。その力を活かすことで、何が起きるのか。活動がつながり、お互いの強みを活かしあえたら、どんな可能性が広がるのか。それを見出し、対話を通して関係をつくり、新しい動きの芽を生み出すことは、これからの地域のファシリテーターやコーディネーター、まちづくり実践者に不可欠な力です。

今年度のプログラムは、茅野市をフィールドに、地域活動の多面的な意味や可能性を理解し、地域にある多様な力や思いを見つけ、つながりを育てるプロセスに必要な考え方や進め方を、実践体験を通して学びます。

積み重ねと新しい動きが交わる茅野市がフィールド

茅野市は、市民と行政がともにまちをつくる仕組みを長く育ててきたまちです。2003年にはパートナーシップのまちづくり基本条例を制定。市内10地区にコミュニティセンターを置き、分野別の市民ネットワークも活動しています。

一方で、2026年4月に茅野駅前前で開業した複合交流拠点「8Peaks living」、移住者や若い世代の起業、ゼロカーボンなど、新しい動きも次々に生まれています

積み重ねと新しい芽が同時にある地域で、地域の方にご協力いただきながら、多様な分野・立場・活動の人の地域への視点や、活動のつながりを考える場づくりを学びます。

プログラム

公開講座で考え方を学んだうえで、茅野市で活動されている方に聞き書きを行います。その内容を分析し、地域の可能性について考えたことを住民の方に報告し、共に「活動マップづくりワークショップ」で地域のこれからを考えます。この経験を自分の地域でどう生かすかも考えます。

※聞き書きは活動者との調整で日程が変わる場合もあります。

2026年
10/21(水) 18:30-20:30
@オンライン

1 公開講座
講座プログラム、茅野フィールドワークの紹介



「このまちに住み続けたい」は、どう生まれる？ー地域の活動と人のつながりから考える

11/15(日)、20(金)
10:00-17:00 @茅野市

2 茅野での聞き書き
地域で活動する方へのインタビュー(聞き書き)の実施



活動のこと
地域のこと
想いを聞かせてください

12/8(火) 18:30-21:00
@オンライン

3 受講生チームの検討、中間ふりかえり
伺ったお話を整理、客観的視点からの分析



どんな役割？
見えてきた変化や課題は？
つながりの可能性は？

2027年
1/23(土) 10:00-17:00
@茅野市

4 受講生チームの報告、地域対話
受講生と住民による活動マップづくりワークショップ



茅野が住み続けることができる地域として、選ばれるようになるには、どうしたらいい？

まちむら寄り添いファシリテーターとは？

まちむら寄り添いファシリテーターは、地域で暮らす住民として、身近な人々の声に耳を傾けながら、地域の課題やこれから必要なことを話し合う対話の場のづくり手です。過去8年間（H30～R7）の養成講座の修了生153名が県内各地で活動しています。

特設サイトでは活動事例、パンフレットを掲載！

講座の詳細、参加申込は特設サイトから⇒

Nagano-machimura.net



話を丁寧に聴き、



つながりを促す



話し合う場をつくり、



地域の人と共に対話と共創を進める場づくりの担い手

お問合せ先

〈主催〉長野県 長野県企画振興部地域振興課(担当：青木)
TEL：026-235-7021 Mail: katsuryoku@pref.nagano.lg.jp

〈運営事務局〉株式会社エンパブリック(担当：中村)

TEL：03-6303-3195 Mail: nagano-mm@empublic.jp